

工事説明書

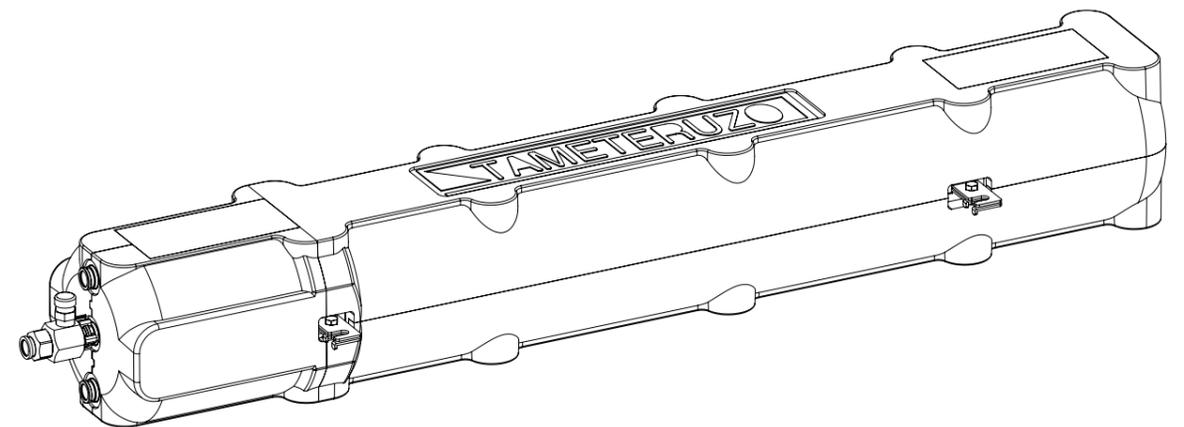
貯水機能付防災ヘッダー 貯めてるゾー18L

株式会社クボタケミックス

型式 EWS150-1-18-IH(PB・PEX)

工事をされる方へのお願い

この工事説明書は、工事作業者が正しく、安全な工事をするために必要な手引書です。
工事開始前に必ずお読みください。本書の設置条件を外れた設置が原因で生じた
故障などは、保証の対象になりませんので、ご注意ください。
設置工事後、この工事説明書は取扱説明書と一緒に、お客様にお渡しください。



株式会社クボタケミックス ホームページアドレス <http://www.kubota-chemix.co.jp>

本社 ☎661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号 ☎(06)6470-5970 (ダイヤルイン)

東京本社 ☎104-8307 東京都中央区京橋2丁目1番3号 京橋トラストタワー ☎(03)3245-3085 (ダイヤルイン)

16.9. 4版

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告 この表示の欄は、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害の発生が想定される」内容です。

行ってはいけない「禁止」の内容です。

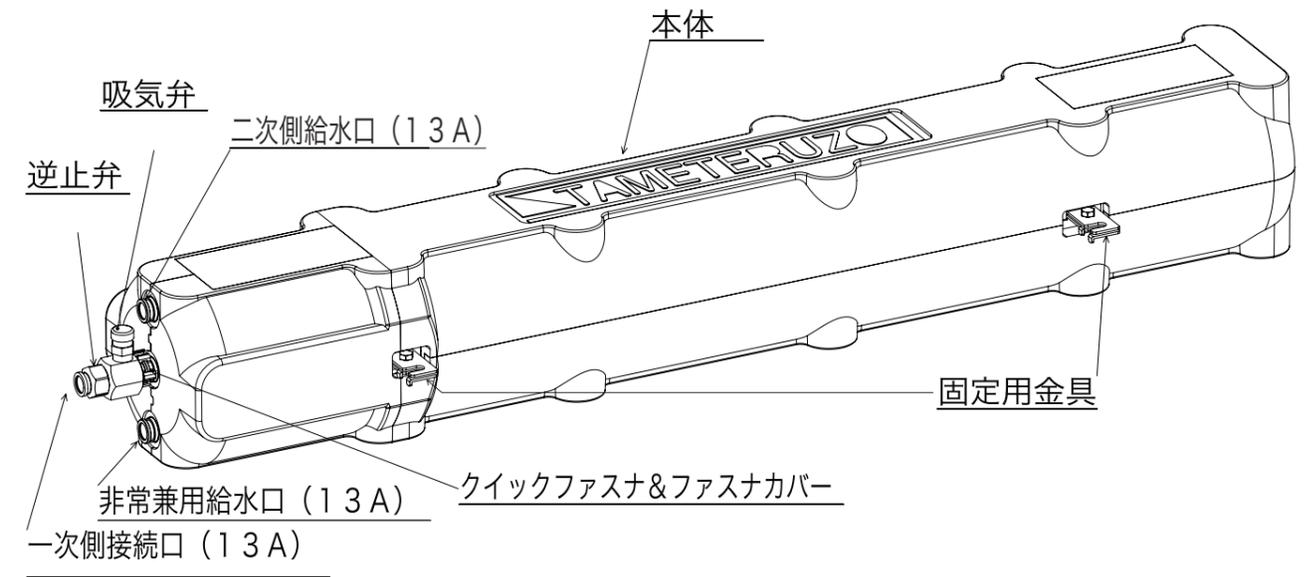
! 必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告	!	高所作業となる場合は、法令・法規に従った安全対策を講ずる。 (転落・転倒によりけがや死亡のおそれがあります。)
	!	柱・梁やスラブが腐食・き裂などで強度不足でないことを確認する。 (本体の落下によりけがや死亡のおそれがあります。)
	⊘	貯水用途以外の用途には使用しない。 (思わぬ事故によりけがや死亡のおそれがあります。)
	⊘	給水用途以外(給湯など)には使用しない。 (思わぬ事故によりけがや死亡のおそれがあります。)

注意	!	工事完了後、本体に傾き・がたつきがないか確認する。 (本体の落下により家財に損害を与えるおそれがあります。)
	!	工事完了後、本体および給水管から漏水がないか確認する。 (水漏れにより家財に損害を与えるおそれがあります。)
	!	工事は工事説明書に従って確実にを行う。 (本体の落下や水漏れの原因になります。)
	!	重量物のため搬入・据付時には注意する。 (落下などでけがをするおそれがあります。)
	!	重量物に耐える場所に設置する。 (強度不足や、取付けが不完全な場合、落下により、けがをするおそれがあります。)
	⊘	本体に衝撃を与えないようにする。(水漏れの原因になります。)
⊘	給水管を折り曲げたり、つぶしたりしない。(水漏れの原因になります。)	
⊘	本体を解体しない。(本体の故障や結露、水漏れの原因となります。)	

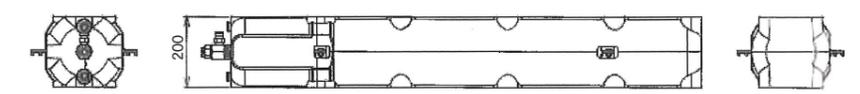
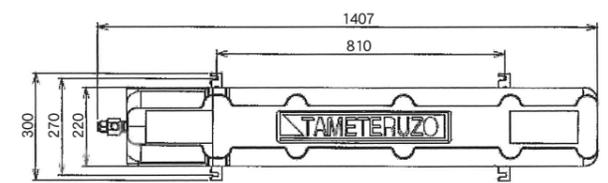
目次	安全に関するご注意	P1	準備作業(木造・RC造住宅共通)	P7
	各部の名称	P2	取付け方法(木造住宅)	P9~10
	商品の確認	P3	取付け方法(RC造住宅)	P11~12
	使用工具	P4	給水管の接続	P13
	標準仕上図	P5	検査	P14
	取付け前のご注意	P6	維持管理	P14
	取付け時のご注意	P6		

各部の名称



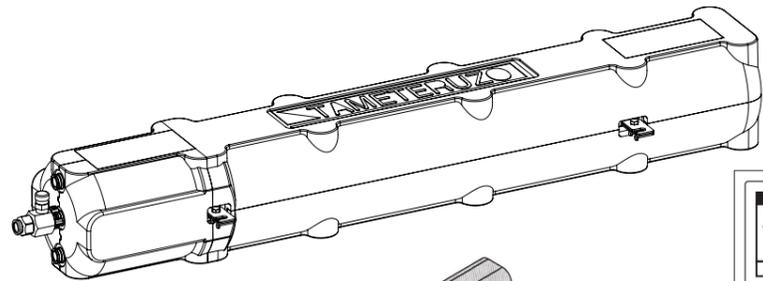
仕様

質量	14kg (貯水時約34kg)
貯水量	18ℓ
接続口径(口数)	13A (3口)
型式	EWS150-1-18-IH (PB・PEX)
継手	クイックファスナー対応受口(QF14)
カバー	ポリスチレンフォーム(低VOC、難燃剤配合)

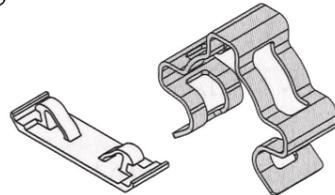


商品の確認

梱包箱



本体1台



クイックファスナー・カバーセット (QF14)
3個



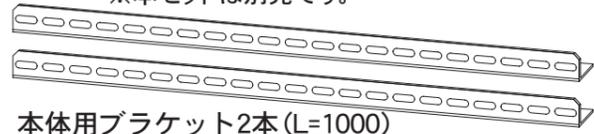
工事説明書 (本書) 1冊



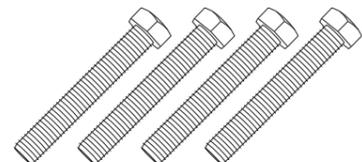
取扱説明書1冊

木造住宅用固定金具

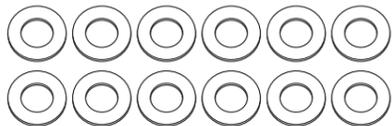
※本セットは別売です。



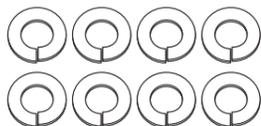
本体用ブラケット2本 (L=1000)



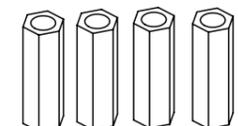
ボルト (M10 x L80) 4本



ワッシャー (M10) 12枚



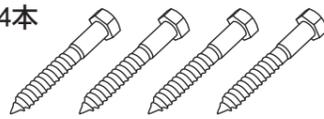
スプリングワッシャー (M10) 8枚



高ナット (M10 x L50) 4本



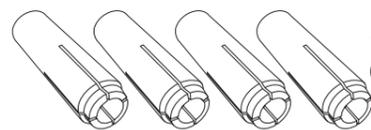
ナット (M10) 4個



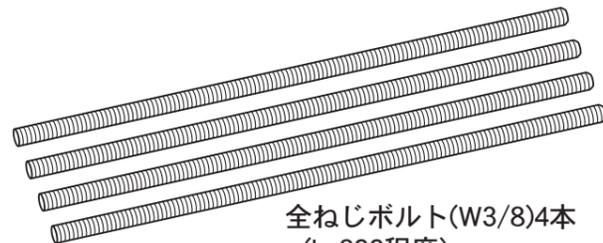
コーチボルト (M12 x L70) 4本

RC造住宅用固定金具

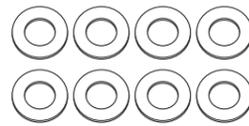
※別途購入下さい。



めねじアンカー
(W3/8) 4本



全ねじボルト (W3/8) 4本
(L=200程度)



ワッシャー 8枚



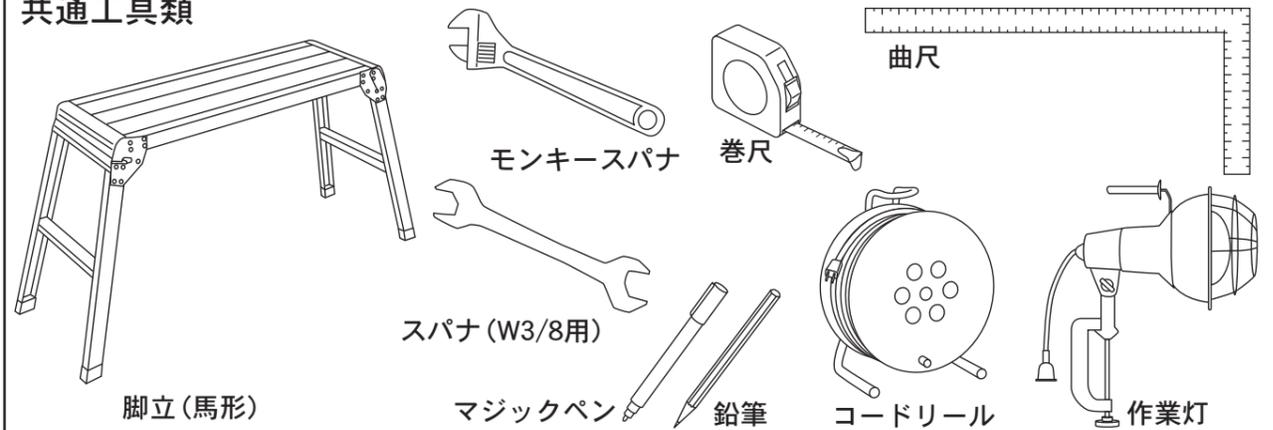
スプリングワッシャー 4枚



ナット (W3/8) 8個

使用工具

共通工具類



脚立 (馬形)

モンキースパナ

巻尺

曲尺

スパナ (W3/8用)

マジックペン

鉛筆

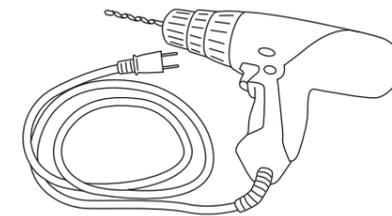
コードリール

作業灯

木造住宅工具類

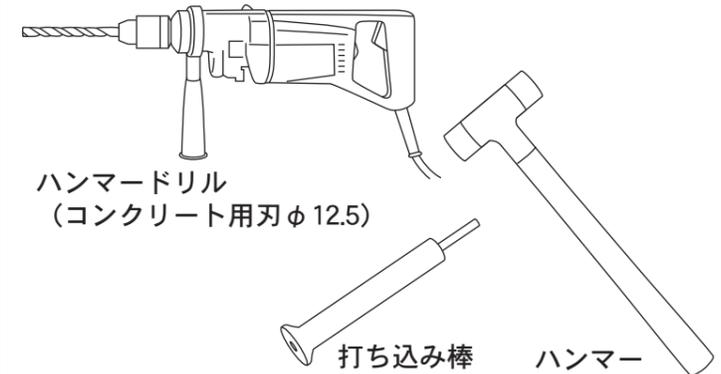


ラチェットレンチ (M10、12用)



電動ドリル (木用刃 φ9)

RC造住宅工具類



ハンマードリル
(コンクリート用刃 φ12.5)

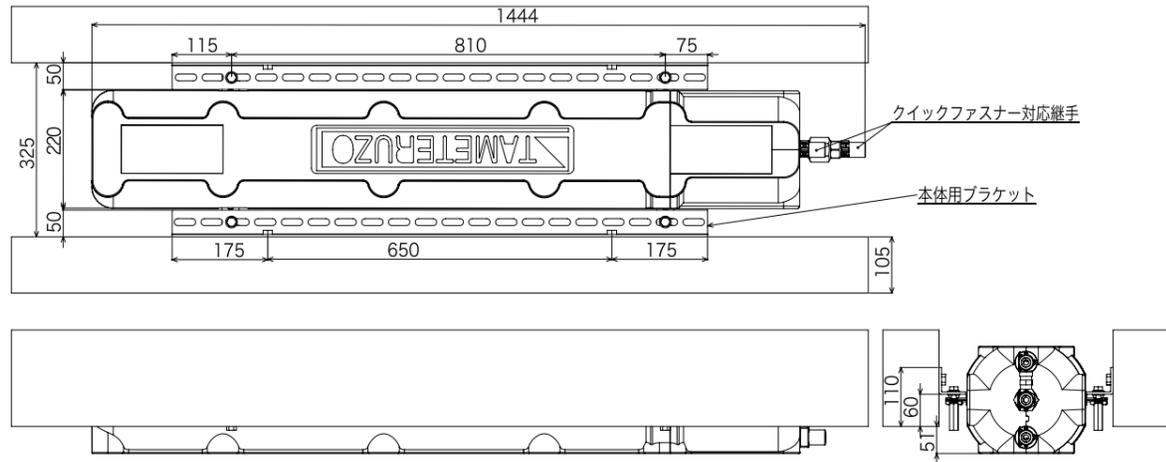
打ち込み棒

ハンマー

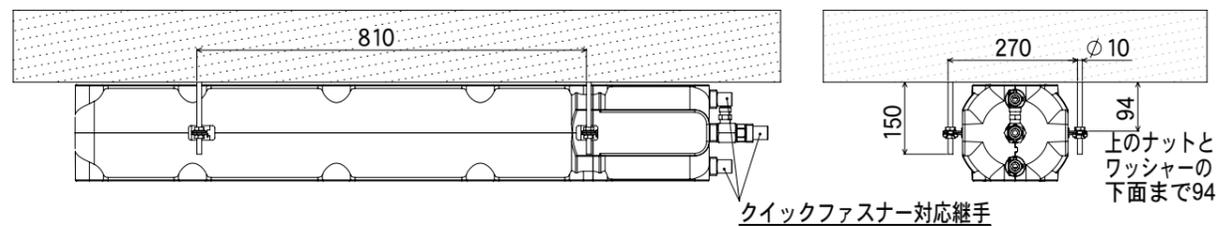
MEMO

標準仕上図

木造住宅



RC造住宅



取付け前のご注意

取付けの前に下記を確認してください。

- ①配管スペースがあること。ない場合は管継手(エルボ)を別途準備してください。(P13「配管スペースの確保」参照)
- ②RC造の場合、作業スペースがあること。
- ③木造住宅では、所定の位置に補助梁があること。また補助梁には十分な強度があること。(推奨寸法180×105)
- ④RC造住宅では、取付け部にき裂や凸部がないこと。
- ⑤配管接続部の位置に天井点検口を設置できること。
- ⑥給水圧力は200kPa (2kgf/cm²) 確保すること。

取付け時のご注意

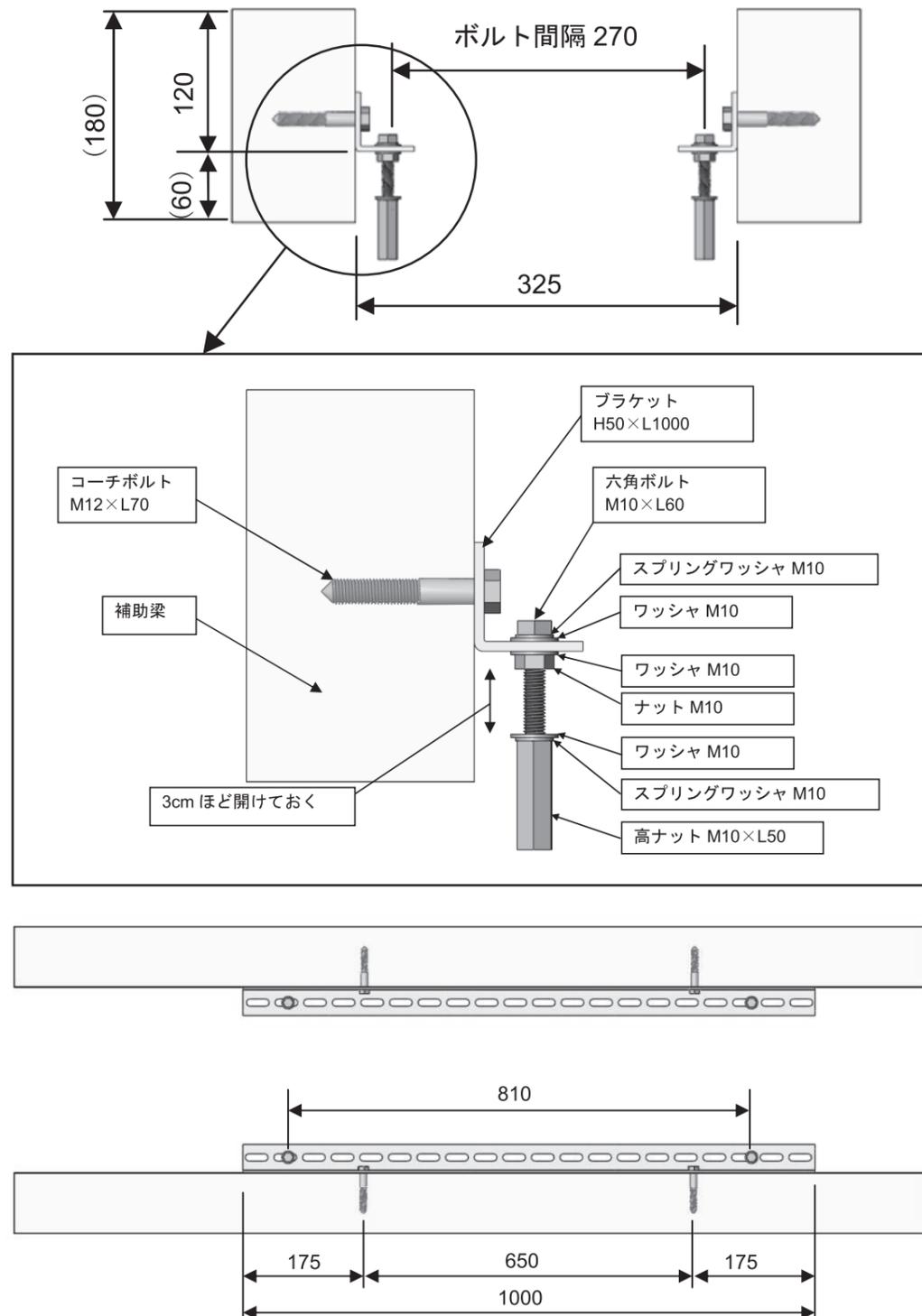
取付け時に下記に注意してください。

- ①本体は結露防止のため、ポリスチレンフォームで覆われています。梱包材ではありませんので、絶対に取外さないでください。
- ②本体に落下させる等の衝撃を与えた場合、外観に異常が無くても、内部が損傷している可能性がありますので使用しないでください。
- ③本体を小運搬するときは、逆止弁を持たないでください。また固定金具の角部で怪我をしないようご注意ください。
- ④本体は重量物です。取扱いには十分注意してください。また、本体前後の重量バランスが異なりますのでご注意ください。(前面カバー側が、やや重たくなっています。)
- ⑤本体は水平に設置してください。本体が傾いて設置された場合、十分に機能を発揮できません。

取付け方法(木造住宅)

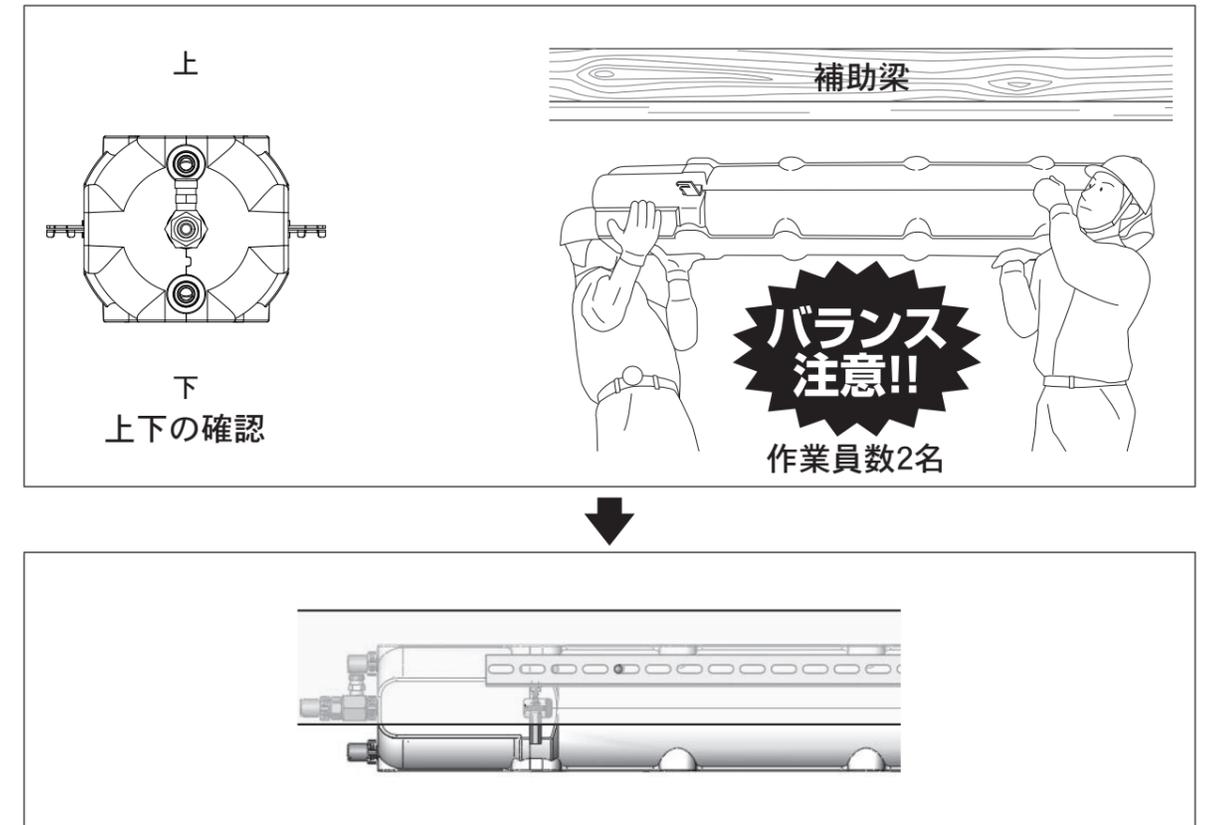
1 本体用ブラケットとボルト・ナットの取付け

- (1) コーチボルト取付用下穴(φ9)を開ける。
- (2) 本体用ブラケット(2個)を補助梁にコーチボルトで取付ける。
※本体用ブラケットは水平に取付けてください。
- (3) 本体を設置する所にボルト・ナット・ワッシャを取り付ける。



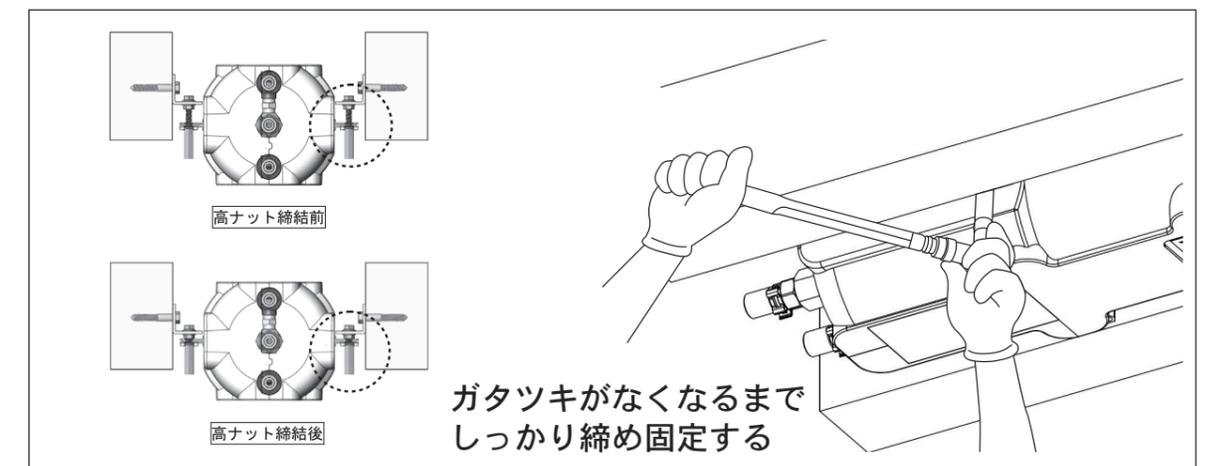
2 本体の取付け

- (1) 本体の上下を確認する。
- (2) 本体を持ち上げ、4ヶ所の固定金具の切欠き部にボルトを通し、高ナットの上に載せる。



3 本体の固定

高ナットを締め上げて固定する。



➡ P13「給水管の接続」へ

取付け方法(RC造住宅)

1 全ねじボルトの取付け

所定の取付位置に、めねじアンカー(4個)を埋め込み、全ねじボルトを取り付ける。

めねじアンカーを打ち込む

全ねじボルトをしっかり奥までねじ込む

寸法通りにハンマードリルでめねじアンカー用の下穴(φ12.5)をあける
(孔内の切粉を除去してください。)

① φ12.5のドリルで穴を開ける。
(深さ40mm)

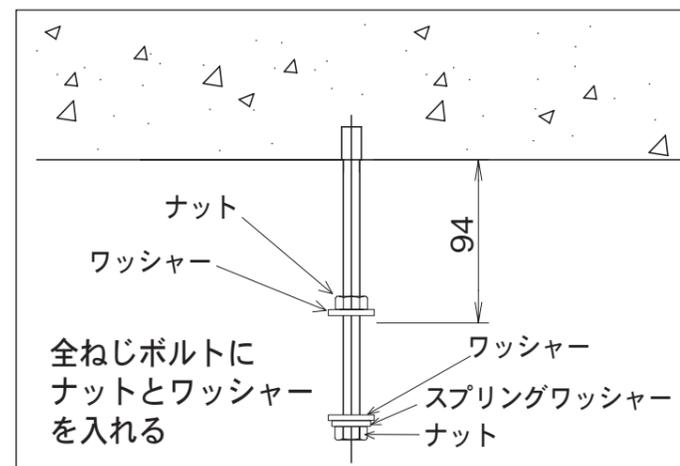
② プロア等を用いて孔内の切粉を除去する。

③ めねじアンカーを軽く叩いて挿入し、打ち込み棒で手ごたえが変わるまでハンマーで打ち込む。

めねじアンカー施工要領

2 ナット・ワッシャーの装着

全ねじボルト(4本)の所定の位置にナットとワッシャーを装着する。



3 本体の取付け

- (1) 本体の上下を確認する。
- (2) 本体を持ち上げ、固定金具の切欠き部に全ねじボルトを通し、上側ナットに当る位置で本体が水平になるように下側ナットで固定する。

上
下
上下の確認

バランス注意!!
作業員数2名

給水管の接続

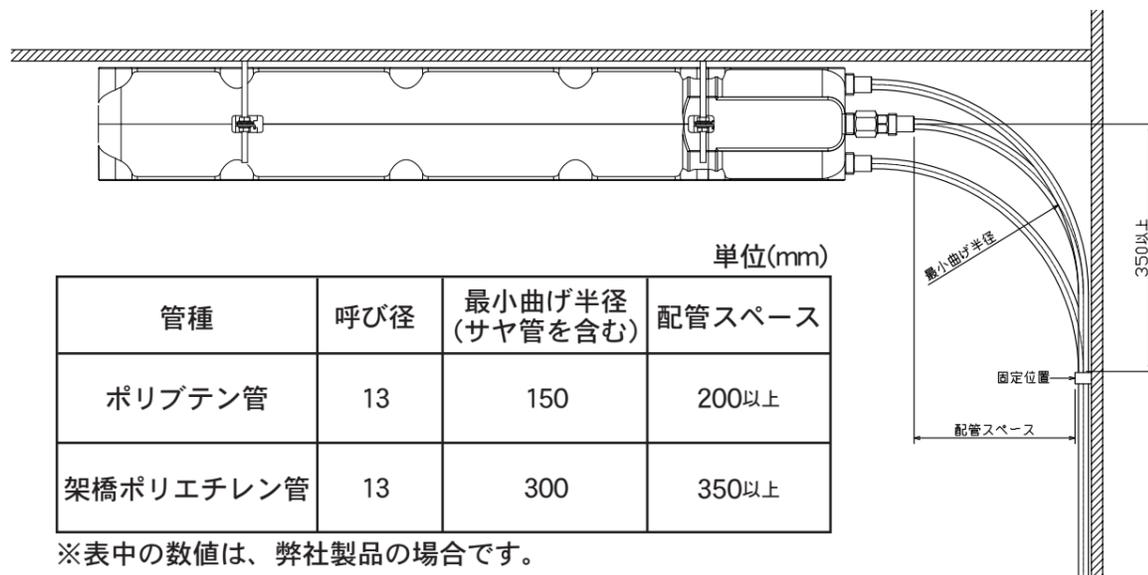
- ・配管工事は、必ず所轄の水道局(水道事業管理者)の認定水道工事業者に依頼し、指定された配管材料・配管資材を使用してください。
- ・非常兼用給水口及び二次側給水口は単独で水栓と接続してください。
- ・備蓄水の滞留により衛生性が失われる可能性があるため、給水口のキャップ止めは禁止です。

1 接続方法

一次側接続口、給水口および非常兼用給水口の管継手と給水管(PBまたはPEX)との接続は継手の取扱説明書に従って行って下さい。

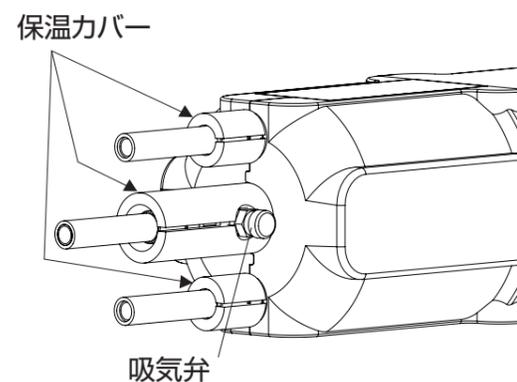
2 配管スペースの確保

給水管の固定は最小曲げ半径を確保できる位置で行う。
最小曲げ半径や配管スペースが確保できない場合は、別途管継手(エルボ)を使用する。



2 金属継手部の保温カバーの施工

金属継手部(3箇所)には保温カバー(市販品)を必ず取り付ける。
ただし、吸気弁の箇所は孔をあけて、吸気機能を妨げないようにする。
また、吸気弁の取り出し角度が水平以上になるよう、ビニールテープ等で固定する。



検査

配管終了後、水圧試験を行い、本体および給水管から水漏れがないことを確認する。

【推奨水圧試験方法】

管種	圧力試験(準備)		圧力試験(本試験)		
	初期圧力※	時間	試験圧力	時間	判定
ポリブテン管	0.95~1.05MPa	10分間	0.75MPa	60分間	圧力0.65MPa以上
架橋ポリエチレン管	0.75MPa	5分間	0.75MPa	60分間	圧力0.5MPa以上

※ポリブテン管は、初期圧力まで昇圧して放置、10分後に試験圧力まで降圧する。
架橋ポリエチレン管は、昇圧を繰り返し、5分間初期圧力を保持する。

維持管理

1 本体への給水を停止する場合

水道の元栓を閉めて下さい。

2 吸気弁から漏水した場合の応急処置

吸気弁から漏水した場合の応急処置

吸気弁の止水リングを引き抜きキャップを回して漏水を止めてください。

